

北陽台だより 第331号

# 青い波北陽台

令和8年 5月29日 発行  
長崎県立長崎北陽台高等学校  
西彼杵郡長与町高田郷3672  
TEL 095-883-6844  
FAX 095-883-0776  
発行責任者 長池一徳

## 9年ぶりの母校勤務に感謝

教頭 小江 諭

校舎とグラウンドの間のグリーンベルトにそびえたつ、校樹のけやきの葉も青々と茂ってきました。少しずつ季節が夏へ移ろいでいくのを感じます。

私は、4月より長崎北陽台高校（以下、北陽台）の仲間入りをさせていただきました小江諭（こえさとし）と申します。この度の人事異動で、佐世保南高校より転勤してまいりました。私は本校の第14回生で、高校時代は野球部に所属していました。高校3年時の平成6年8月には、第76回全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園大会）に主将として出場し、甲子園で3度校歌を歌うことができました。大学卒業後、高校教諭となり、平成17年4月から平成29年3月までの12年間、教諭として北陽台に勤務し、野球部の監督も務めました。高校時代の3年間、教員としての28歳から40歳までの12年間、言わば私をつくってくれた学校にこうして9年ぶりに勤務することができ、大変ありがたく思っています。

北陽台での思い出は数え切れないほどありますが、その中から今回は、私が北陽台を去る際の離任式での一幕をご紹介します。

平成29年3月24日、離任式の中で私は、生徒に向けて、「今回私は、生徒もおらず野球の指導もできない職場へ転勤することになり、寂しい気持ちは当然あります。しかし、これまで私は、特に学校を巣立っていく卒業生に対して“自分のおかれた環境を最高のものだ」と信じよう。そう考えることで、たとえ初めのうちはそう感じていなかったとしても、次第に自分にとって最高の環境になり、君はきっと幸せになれる。ここは自分が身をおくべき環境ではない、本当はもっと違う環境が自分には合っているのに、なんてことは決して考えないでほしい。」と言い続けてきました。だから私は、今回の転勤で与えられた環境をいまの自分にとってベストな環境であると信じ、精一杯頑張ります。」という趣旨の話をしました。当時第2学年主任だった私は、2学年の生徒（第37回生）の1年後を想像しながら話をした覚えがあります。

また、離任式が終了し、拍手で見送られながら体育館を出ると、体育館の外には歴代の多くの卒業生が待っていてくれました。体育館の出口付近において、時間を惜しんで昔話をし、近況を尋ね、記念写真をとりました。そうして職員室に戻ると、今度はさっきまで体育館にいたはずの2年生の野球部員2人が職員室に現れて、武道場に今すぐ来てほしいと言うのです。“何ごとだろう？”と思ってついていくと、武道場には2学年の生徒全員と2学年所属の先生方あわせて300人ほどが集まってくれていました。なんと、2学年による「私のお別れ会」をサプライズ企画してくれたのです。その会の中では、37回生が入学し初めて会った2年前の話などをさせてもらい、学年全員で記念写真をとり、全員からの寄せ書きアルバムもいただきました。さらに、最後は300人全員による人間アーチの中をくぐって退場させていただきました。

私にとって北陽台は、心の優しい素直な生徒たちと生徒の成長を願いつつ熱心に指導される先生方がいる、最高の学校です。そんな北陽台に再度仲間入りができ、北陽台をさらに輝かせる機会をいただけたことに感謝、感謝です。

生徒や先生方とともに精一杯頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

## <普通科 総合的な探究の時間 校内発表会>

4月27日(月)に普通科の生徒による、総合的な探究の時間の校内発表が行われました。昨年度の発表会で選ばれた3つの班が、探究学習の成果を発表しました。また、46、47回生普通科生徒による投票を行い、最優秀賞、優秀賞、優良賞を決定しました。

最優秀賞 環境班 「植物発電について広め、身近に生かそう」

優秀賞 経済班 「スポーツ産業と経済」

優良賞 医療衛生班 「子宮頸がんについて」

また、経済班は6月20日に行われるオープンスクールにて、文理探究科の国際探究、理数探究から選ばれた班とともに、中学生に向けて発表を行います。

今後の全体活動としては、2年間取り組んできた活動内容をまとめたレポートを作成する予定です。



## <校内合唱コンクール>

令和8年5月11日(月)に本校開校当時の伝統行事である「第48回校内合唱コンクール」が終日、体育館で行なわれました。このコンクールは全学年21クラス対抗で行われ、各クラス自由曲を1曲演奏し、発声技術や楽曲表現の完成度を競い合うというものです。すべてのクラスが普段の練習の成果を遺憾なく発揮し、極めてハイレベルな歌声とハーモニーが体育館いっぱいに響いていました。また、このコンクールは毎年一般公開で行われ、今年も多くの保護者の皆様のご来校を賜りました。結果は次のとおりです。

最優秀賞：3年6組

優秀賞：3年7組

優良賞：2年7組

第4位：3年3組

第5位：3年5組



## < 「主体的な学び」を育む講演会 >

5月18日(月)、本校体育館において、「非認知能力」をテーマとした講演会を開催しました。本講演会は、生徒の主体性の育成と、自主的な学習意欲の向上を目的としました。

講師には、非認知能力研究の第一人者であり、All HEROs 合同会社代表の中山芳一氏をお招きし、「これからの時代に求められる非認知能力の育て方」をテーマにご講演いただきました。

本校では今年度、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」の三つの力の育成を掲げており、これらは中山氏の提唱する非認知能力の考え方を基盤としています。

講演では、非認知能力の重要性や進路との関連、育成に向けた具体的な視点など、多面的な内容が示されました。加えて、生徒が自己分析を行い将来について考える機会も設けられ、学びの深い時間となりました。

また、講演中に紹介された「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化(=転移)できる者である。」という示唆に富む言葉は、多くの参加者の印象に残りました。

質疑応答では、生徒および保護者から多数の質問が寄せられ、予定時間を超えるほどの活発な意見交換が行われました。

本校では、本講演で得られた知見を今後の教育活動に活かし、生徒の非認知能力の育成に継続的に取り組んでまいります。



## <前期生徒総会>

5月21日(木)前期生徒総会が開かれました。主な内容の1つ目として本校にある10の専門委員会委員長による所信表明がありました。委員長がリーダーシップを発揮して目標達成のために活動してくれることを期待します。2つ目に令和7年度生徒会会計決算報告・令和8年度生徒会活動計画・令和8年度生徒会予算の承認、オンライン目安箱に投稿された内容について生徒会執行部からの提案がありました。

生徒総会は生徒自身で運営することを目的としています。生徒からの質問に対して生徒会執行部自身で真摯に受け答えする様子が見られました。今後も一人ひとりがもっと意識して様々な行事に主体的な姿勢で臨んでほしいと思います。



## <PTA 総会・学年 PTA・学級懇談会>

5月15日(金)PTA総会がリモートで開催されました。本校スクールソーシャルワーカーの富川悦子先生による講演会が実施され、大人が高校生に対してどのように接していくべきか講演をいただきました。全体総会では、新旧PTA役員の交代が報告され、PTA副会長の山口明雄様、高石真由美様の退任の挨拶、新会長の増本大祐様の着任の挨拶がありました。昨年度のPTA活動の報告と決算、今年度の活動計画と予算案については、書面評決による承認の報告を行いました。

全体総会後はそれぞれの学年からの説明があり、その後各クラスで学級懇談会が行われました。



## <第20回 理数探究発表大会(長崎県大会)>

令和8年5月26日(火)、シーハットおおむら メインアリーナで令和8年度 長崎県文理探究科高等学校探究発表大会第20回理数探究発表大会に本校の文理探究科2・3年生が参加しました。

「ツボミガイとウミニナには相利共生の可能性がある」という題目で口頭発表を行った川村龍之介さん、荒木信遙さん、淵江菜央さん、瀬戸悠聖さん、馬場菜桜さんの生物チームが最優秀賞を、「トラス橋の構造による耐性について」という題目で研究発表を行った才津雅空さん、村田ゆりさん、山本颯月さん、吉野颯介さん、七五三和太郎さんの物理チームが優秀賞を受賞しました。その他、6つのチームがポスター発表を行いました。

口頭発表の部において最優秀賞を受賞した生物チームは、8月20~21日 沖縄県で行われる第28回 中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会の県代表としてステージ発表の部へ出場し、優秀賞を受賞した物理チームは同大会のポスター発表の部に出場します。

最後まで試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組んだ研究成果が実を結んだことで、それぞれの発表者たちの自信になったようです。また、発表見学に参加した2年生も他校の高校生との交流を通し、これからの研究に対する意欲が高まったようです。



## <長崎県文理探究科高等学校探究発表大会 第2回国際探究発表大会>

5月26日(火)午後、シーハットおおむら さくらホールにて標記大会が開催されました。県内5校から集まった9チームがステージで口頭発表、24チームがポスター発表を行いました。文学や言語、産業、経済など多岐に渡る発表で、生徒たちは、課題に対する各チームの斬新なアプローチに興味深々な様子で聴き入っていました。

本校からは下記の2チームが本校代表として口頭発表を行い、優秀賞を受賞しました。

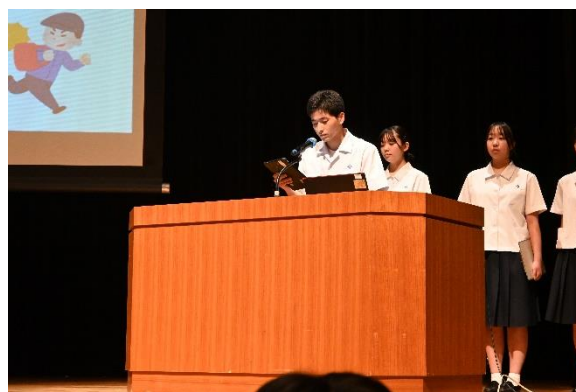
「空き家から未来を創る」

原陽彩さん、柴原天飛さん、川勝ゆうかさん、田中こころさん

「日英翻訳機の誤訳を減らす~日本語の文法とニュアンスに着目して~」

亀川南帆さん、荒木陽香さん、井川茉莉さん、戸村奏さん

ポスター発表を行った2班も研究を披露し、他校生からの質問にも臨機応変に対応していました。1年間の探究活動で身につけたのは、多角的な物事の見方・考え方です。3年生はこの経験を今後の進路実現に活かしてほしいと思います。また、今回参観した2年生文理探究科の皆さんには、これからの探究活動を充実したものにしてほしいと思います。



## <第1学年より> 自分の「枠」を一步踏み出す

1学年 中川 卓也

学年主任の中川です。新年度が始まってから2ヶ月近くが経ち、学校生活も少しずつ落ち着きを見せてきました。皆さんはどのような日々を過ごしているのでしょうか。

私は音楽を聞くのが趣味で、普段はサブスク（定額配信サービス）を利用しています。自分の好みを学習してくれるので非常に便利なのですが、車を運転する時は、あえてラジオをかけるようにしています。ラジオは自分の好きな曲ばかりが流れるわけではありません。時には全く知らないジャンルの曲や、普段なら選ばないような古い曲が流れてくることもあります。でも、実はそこがいいのです。

今のスマホの世界、つまりインターネットの世界では「アルゴリズム」が働いており、私たちが一度興味を持ったもの、好きなものばかりを自動的に集めて流してくれます。それはストレスのない、とても「心地良い空間」です。一方で、ラジオは番組側やパーソナリティが選んだものを、受け手である私たちがそのまま聞くことになります。一見すると不自由ですが、だからこそ、そこには自分の予想を超えた思いがけない「出会い」や「新たな発見」があるのです。

皆さんの学校生活にも全く同じことが言えるのではないのでしょうか。自分の好きなことだけをやり、話しやすい友達とだけ接し、慣れた係や役割だけをやっていれば、失敗もしませんし、確かに居心地は良いかもしれませんが、その「心地よい空間」の中にずっと身を置いては、「本当の成長」は訪れないのではないのでしょうか。苦手なことに挑戦したり、普段あまり話さない人と意見を交わしたり、あえて新しい環境に飛び込んだりするからこそ、人間としての幅が広がるのだと考えます。

実は5月、ラジオを聞いていて、嬉しい発見がありました。なんと、私の教え子が所属するバンドの楽曲が電波に乗って流れてきたのです。10代という若さで、決して平坦ではない音楽の道を志すと決めた彼女たち。その大きな覚悟と、これまでの努力が真っ直ぐなメロディに乗って聞こえてきた時、胸が熱くなると同時に、深い感銘を受けました。

彼女たちが、ラジオから曲が流れるようなチャンスを掴み取れたのは、自分の「心地よい空間」から一步外へ踏み出し、未知の世界へ挑戦したからです。

生徒の皆さん、学校生活という場所には「予期せぬ出会いや挑戦」がたくさん転がっています。自分の好みの枠だけに縛られず、ぜひ色々なこと挑戦してみてください。その一步を踏み出した先で出会う新しい経験が、きっと皆さんを大きく、逞しく成長させてくれるはずです。

## <第2学年より>

長崎北陽台 47回生

# Decide Act Grow!

2学年 朝野 美夏

先日のPTAには、平日にもかかわらず多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。学級懇談会では学校生活の様子や家庭での様子等、有意義な情報交換ができました。また、5月18日には「主体的な学び」を育む講演会を実施しました。自分を高める力、自分と向き合う力、他者とつながる力の3つの視点で分かりやすくご講演していただきましたが、たくさんの生徒に響いているようでした。生徒一人ひとりが充実した日々を送っていくために、私たち職員も何ができるか考えていきたいとあらためて感じたところです。保護者の皆様にはこれからも見守りと励ましをよろしくお願いいたします。

### ～自主性を育むコトバかけ～

思春期真っ盛り的高校生。心や体の変化の中で感情が揺れやすく、大人との関わりの中で衝突が起こりやすい時期です。お互いが感情的にならずに会話するためのヒントにしてください。

「早く起きなさい!!」

⇒「朝ごはん、準備できたから食べてね」



「スマホばかり！勉強してるの？」

⇒「授業はついていけてる？」  
「単語テストがあるなら、問題だそうか！」



「課題はやってるの？」

⇒「今日はこれから何をするの？」



「音楽を聴いてばかり！集中できてるの？」

⇒「音楽を聴きながらだと集中しやすいタイプなんだね」



「疲れたね」「大変だね」など、寄り添う言葉をかけてあげてください。言葉のみならず自ら行動できるように環境を整えてあげることも効果的です。保護者の皆さんがこどもたちの一番のサポーターです！



※歌詞があると、脳が言語処理を行い、読解や暗記の妨げになることも！雨音や波の音は効果的という研究結果も。

6月といえば高総体。今年はチームの主力となる人も多いようです。熱中症やケガに注意しながら、一番の勝負に向けて頑張ってもらいたいです！

高総体  
燃やせ闘志を  
信じろ努力を  
6月6日(土)～



走りきる!



登山



ハンドボール



陸上



バレーボール



ラグビー 鉄になれ!



弓道



テニス



サッカー



バスケットボール



頑張るぞ!



高総体ポスター奨励賞に!

美術部



バドミントン



卓球



アーチェリー



放送部

6月中旬に大会出場

## <第3学年より>

3学年 田中 美幸

3年生の皆さん、日々の学習、行事、部活動、全力で取り組んでいますか？今年に入って、授業中に目をキラキラさせて真剣に学習に臨む人が少し増えたなど喜んでます。ぜひ、今後も続けてください。この間の講演で講師の先生がおっしゃっていました。「勉強はぜいたく品」今日もその言葉を胸に学習に励んでくださいね★

ところで、今回は総合的な探究の時間で進路学習が始まったので、そのことについて少し触れたいと思います。進路実現に大切なのは、

- ①自分を知ること（自分が何に興味があって何がしたいのか）
- ②相手を知ること（その大学で、学校で、場所で何が学べるのか、どのような力が身に付けられるのか）
- ③目標に見合った学力をつけること（受験したいと思った時に挑戦できるように）

だと考えます。ひとり一人が自分のこととして自分のためにしっかり進路学習を進めてほしいなと思います。しっかり自分と向き合って自分を鍛えていってください！

保護者の皆様へ

お忙しい中、PTA 総会、学年 PTA、学級懇談会への参加ありがとうございました。また、お仕事等で参加できなかった保護者の皆様には、お子様を通じて資料を配付しておりますので、必ずご確認いただければと思います。学年の資料や「共通テストの基礎知識」という冊子で、共通テストや入試について、「大学進学ガイドブック」や「奨学金の手引き」という冊子では、受験時や進学後の費用のことなどについて詳しく説明がなされています。受験や進学に際して多くの費用が掛かりますので、今のうちから知っておかれるといいのではないかと思います。ぜひご覧ください。資料等に関してご質問がありましたら、遠慮なく担任を通じてお知らせください。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

### 6月の主な行事予定

- 1日(月) 代休(6/6)
- 5日(金) 高総体開会式  
(午前:授業 午後:放課)
- 6日(土) 高総体(~9日)
- 10日(水) 代休(6/7)
- 12日(金) 高総体ラグビー全校応援(予定)
- 13日(土) 校外模試(3年) GTEC(希望者)
- 14日(日) 校外模試(3年)
- 15日(月) 3年放課後講座開始
- 16日(火) 水産研修ガイダンス(1年文理探究科)
- 18日(木) 試験時間割発表
- 19日(金) 代休(6/20)
- 20日(土) オープンスクール  
(午前:授業・設営・LHR 午後:放課)
- 25日(木) 1学期定期試験(~30日)
- 30日(火) 午後:表彰伝達式・報告会・壮行式、学年集会、LHR など

